

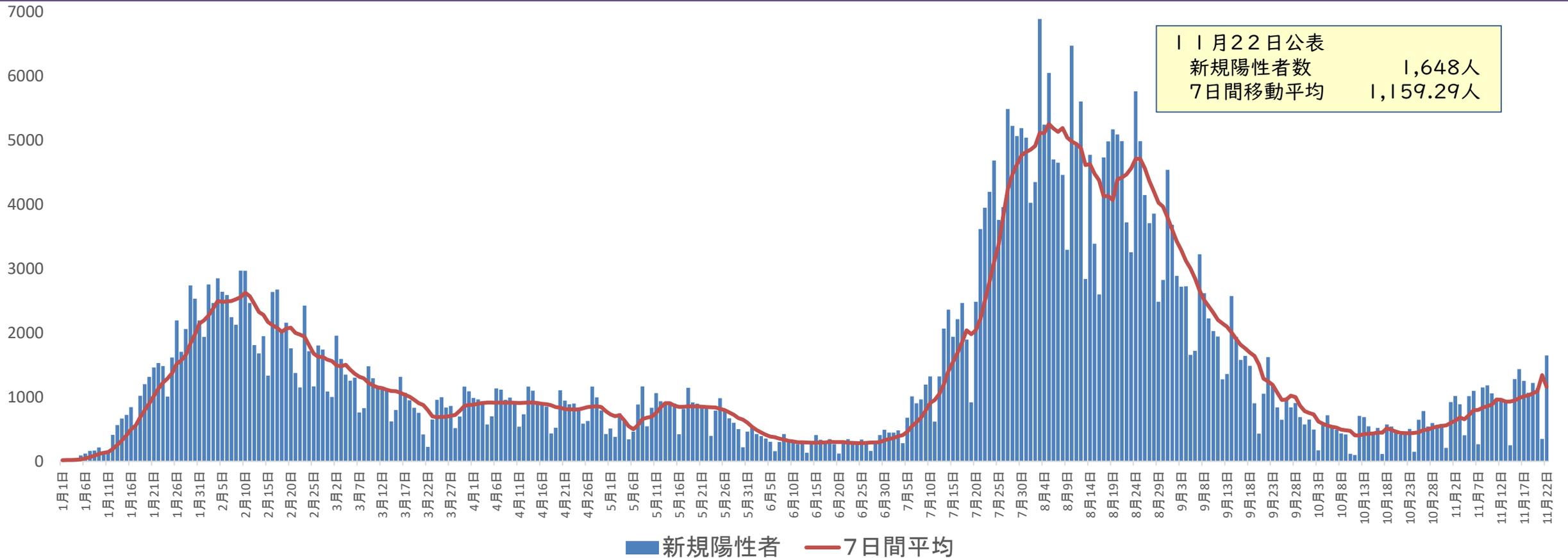
# 発熱患者の増加に備えて



令和4年11月22日

京都府知事 西脇 隆俊

# コロナ新規陽性者数等の推移とインフルエンザの発生状況



インフルエンザの発生状況(定点観測医療機関あたりの報告数) ※2022年11月7日~13日

全国平均	京都府	大阪府	兵庫県
0.08人	0.34人	0.48人	0.15人

# 発熱患者の増加への備え

- 新型コロナウイルスの感染拡大が継続
- インフルエンザは、患者報告数は少ないものの、今後、流行の懸念



発熱患者等の増加状況を踏まえ

・安心して受診・相談できる体制を確保するため



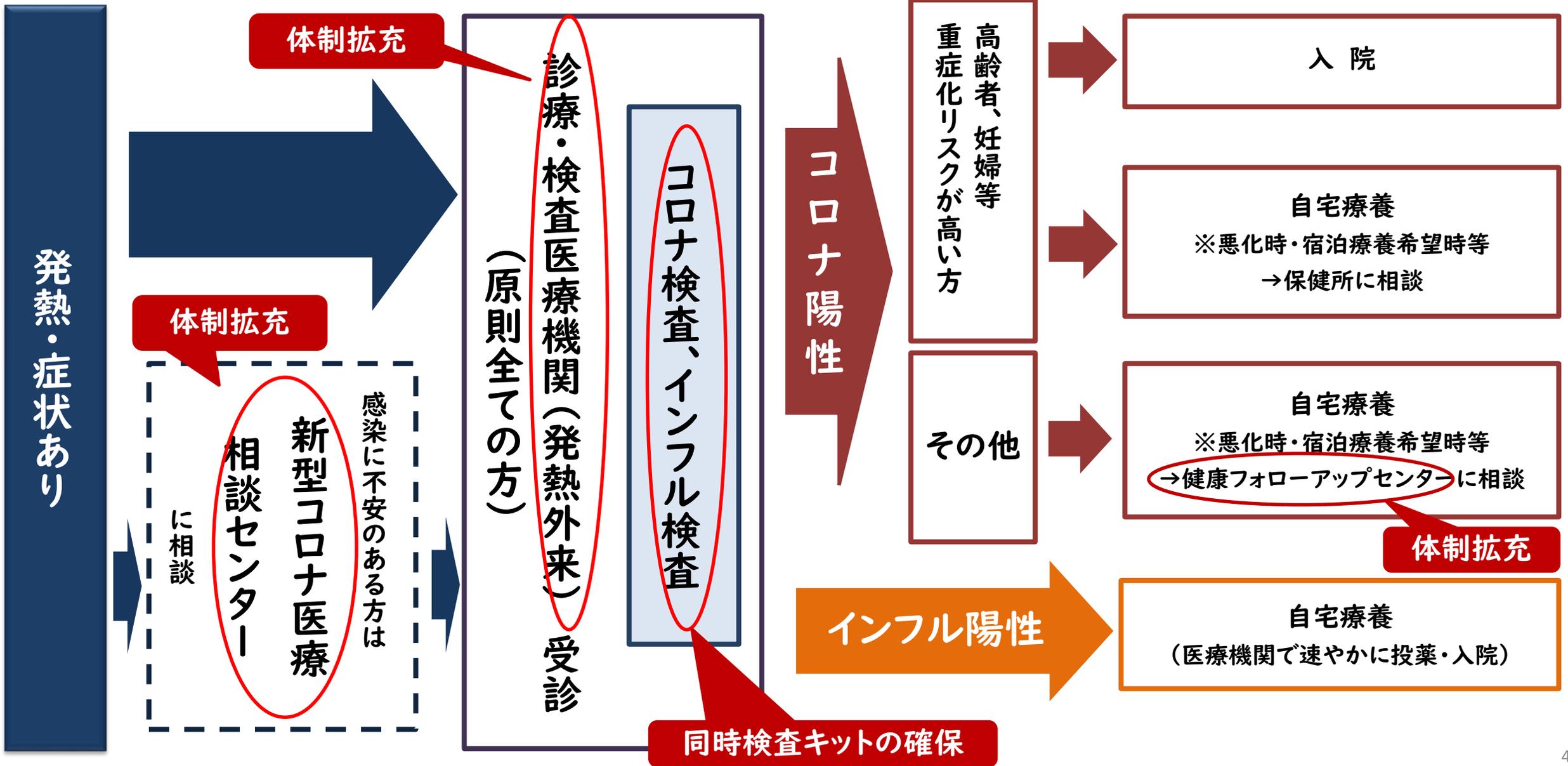
相談体制・医療体制を拡充

・重症化予防のため



早期のワクチン接種を推進

# 発熱患者の増加に備え、体制を強化



# 発熱患者等の増加状況を踏まえ相談体制を拡充

## 新型コロナ医療相談センターの体制拡充

### ◆発熱等により感染に不安のある方が相談できる体制を充実

- ・ 電話回線の増加 22回線 → 50回線

相談員も拡充!

## 健康フォローアップセンターの体制拡充

### ◆コロナ陽性の自宅療養者に対する相談 →速やかに対応できる体制を充実

体制拡充に伴い、  
重症化リスクの高い方以外の  
登録を呼びかけ

- ・ 陽性者登録班の人員を拡充 6人 → 15人

- ・ 電話回線の増加  
総合相談班 6回線 → 9回線  
健康相談班 6回線 → 9回線

# 発熱患者等の増加状況を踏まえ医療体制を拡充

## 診療・検査医療機関数を拡充

◆959機関（8月4日）→ 1,001機関（11月22日時点）

## 休日診療の拡充

引き続き確保

◆コロナ対応の休日診療の増加に対し助成

（期間：12月10日～2月28日）

## 診療迅速化・医療機関の負担軽減

◆コロナ・インフル同時検査キットを確保し、医療機関に提供

（65,000回分） ※状況に応じ今後追加で確保

⇒ 発熱等の症状がある時は、発熱外来を受診しましょう

# オミクロン株対応ワクチンの概要

## ◆従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果

→ 重症化予防 / 感染予防効果や発症予防効果も期待

### 対象者

初回接種（1、2回目）を終えた全ての12歳以上の方

### 使用ワクチン

ファイザー及びモデルナ（従来株及びオミクロン株に対応）

	初回接種の対象者 (1・2回目)	3回目以降の対象者		接種場所
		12～17歳	18歳以上	
ファイザー	× (使用不可)	○	○	市町村接種会場、医療機関
モデルナ	× (使用不可)	× (使用不可)	○	京都府接種会場等

⇒ 重症化予防のため、早期の接種をご検討ください

# オミクロン株対応ワクチンの接種状況

## 接種回数別

11月20日時点

	対象者	接種済者	接種率
全体	1,990,374	275,310	13.83%
3回目接種者	422,599	24,400	5.77%
4回目接種者	901,003	157,906	17.53%
5回目接種者	666,772	93,004	13.95%

## 年代別

11月20日時点

	対象者	接種済者	接種率
全体	1,990,374	275,310	13.83%
20代以下	332,269	23,842	7.18%
30代~50代	808,696	109,921	13.59%
60代以上	817,726	140,864	17.23%

※全体欄には年代不明者を含む

# ワクチン接種の推進

接種機会の確保

拡充

- ◆大規模商業施設での臨時接種会場の開設  
(ワクチン接種チームの派遣)

予約なしでも受付!

市町村接種体制の支援

継続

- ◆接種スタッフが不足する市町村に医療従事者を派遣

インフルエンザワクチンの接種もあわせて検討ください